

『アドルフ・ヒトラー100年—防空壕での総統の最後のひととき』



地下壕でのヒトラー最期の数時間を描く、暗闇の中の狂騒。

第二次大戦から残る実際の塹壕を使用し、完全な暗闇の中16時間ぶっ通しで撮影された本作では、撮影が終わるまで俳優陣、スタッフともに外に出ることが一切許されなかった。真っ暗闇の中、監督が手に持つ懐中電灯だけが第三帝国崩壊時のカオスを照らし出す。短編作品『エリーゼのために』(2分/1982)を併映。

クリストフ・シュリンゲンジーフ／出演：ウド・キア（ヒトラー）、アルフレッド・エデル（ゲーリング）、ディートリヒ・クルーブロート（ゲッベルス）、ブリギット・カウシュ（エヴァ・ブラウン）他／16ミリ（デジタル版上映）／55分／1989（ドイツ）

8月4日（土）21時15分 / 8月8日（水）18時30分

『ドイツチェンソー大量虐殺』



“彼らは友人として来訪し、ソーセージになった…。” シュリンゲンジーフの東西ドイツ統一に対する回答。

1989年11月、東西ドイツの国境が開放され、多くの東ドイツ人が西ドイツへと流入した。しかし、彼らの4%は旅半ばで行方不明となっていた…。トラッシュ・ホラーの体裁をとりながら、自由経済社会を肉市場に見立てて1990年の東西ドイツ統一への強烈皮肉とした、シュリンゲンジーフの出世作。

クリストフ・シュリンゲンジーフ／出演：カリナ・ファレンシユタイン、ズザンネ・ブレデヘフト他／16ミリ（デジタル版上映）／60分／1990（ドイツ）

8月5日（日）18時30分 / 8月8日（水）21時15分

『テロ2000年 集中治療室』



「ドイツ3部作」、邪悪・変態の集大成。

「ポーランド野郎を殺せ」。家具店のオーナーと司祭に扮したネオナチ二人組が、住民を組織し外国人移民を抹殺、民族浄化を目指す。そこへ難民殺害事件を捜査中の狂った刑事二人がやってきて、大騒動へと発展する…現在のヘイト社会の戯画としても有効な、“政治的に全く正しくない”バイオレンス抗争劇。『アドルフ・ヒトラー100年』、『ドイツチェンソー大量虐殺』に続くシュリンゲンジーフ「ドイツ3部作」最終章。

クリストフ・シュリンゲンジーフ／共同脚本：オスカー・レーラー（『素粒子』）／出演：マルギット・カルステンセン（『ペトラ・フォン・カントの苦い涙』『マルタ』）、ペーター・カーン（『ラ・パロマ』『まわり道』）他／35ミリ（デジタル版上映）／60分／1990（ドイツ）

8月5日（日）21時15分 / 8月9日（木）13時

『ボトロップの120日』



ドイツ映画の破壊と再生を試みる、日本未公開劇映画作品。

ファスビンダー映画の常連俳優の生き残りたちが、“最後のニュージャーマン・シネマ作品”を制作するために再結集する。パゾリーニの『ソドムの120日』のリメイクをするというのだ。しかし監督のシュリンゲンジーフは降板させられ、資金繰りに困ったプロデューサーはハリウッドにエージェントを送り込む…。

クリストフ・シュリンゲンジーフ／出演：マルギット・カルステンセン、イルム・ヘルマン（『四季を売る男』『出稼ぎ野郎』）、フォルカー・シュペングラー（『マリア・ブラウンの結婚』）ヘルムート・バーガー（『ルートヴィヒ』『家族の肖像』）／16ミリ（デジタル版上映）／60分／1997（ドイツ）

8月6日（月）18時30分 / 8月9日（木）15時45分

『フリースター3000』



“普通”とは何か？通常の常識を超えた最強のスター誕生。

知的障害者・身体障害者の参加者たちが厳しい審査の末に、バンド“ネジを探す母”のメンバー7名に選ばれるまでを追ったスター誕生ショー。本作はドイツの若者向けチャンネルVIVAの最大人気となったテレビ番組の映画版である。これは“やらせ”それとも“ドキュメンタリー”？“弱者の社会参加”か、“アートの名の下に行われる搾取”なのか？

クリストフ・シュリンゲンジーフ／出演：アヒム・フォン・パチエンスキー、イルム・ヘルマン他／デジタル／75分／2003（ドイツ）

8月7日（火）15時45分 / 8月9日（木）21時15分

『友よ！友よ！友よ！』



ジャンキー、ホームレス、売春婦、障害者…普段社会からのけものにされている人たちを巻き込んで展開する、シュリンゲンジーフが行なった社会パフォーマンスの記録。

ハンブルク・ドイツ劇場の制委嘱を受けたシュリンゲンジーフは、劇場の舞台から飛び出して、麻薬常習者や売春婦、ホームレスの住処となっていたハンブルク中央駅の目の前にある建物を彼らのために開放し、7日間行

動をともしする。報道陣や警察、救世軍の人々を巻き込み、街頭デモや公開討議、茶会や社会科見学などが行われた様子のドキュメント。

アレクサンダー・グラセック＋シュテファン・コリント／出演：クリストフ・シュリンゲンジーフ、花代他／デジタル／73分／1997年

8月7日（火）21時15分 / 8月10日（金）13時

『外国人よ、出て行け！』



メディア、市民が激怒！ 激しい論争を巻き起こした伝説的アクションの記録。

ある日、ウィーン歌劇場前にコンテナがいくつも設置される。そこには 12 人の難民申請者が入れられ、監視カメラで内部の映像が 24 時間ウェブ上に流される。毎日視聴者のウェブ投票で決められた 2 名が、コンテナから出され国外追放となる。最後に残った 1 名のみが、晴れてオーストリアの滞在許可を得られるのだ。反移民の極右政党が政権入りを果たした 2000 年のオーストリアを舞

台に、シュリンゲンジーフが行った社会的パフォーマンス／アート・テロリズムの記録。

パウル・ポエット／出演：クリストフ・シュリンゲンジーフ他／デジタル／90分／2002（ドイツ＋オーストリア）

8月8日（水）13時 / 8月11日（土）21時15分

『U3000』



運行している最中のベルリン地下鉄7番線を舞台に放送された反＝テレビ番組シリーズ。

映画や舞台、アートのアクションへと活動を広げていたシュリンゲンジーフは政党を結成、テレビ出演も多々行い、ドイツの文化的言説に影響を与える中心人物の一人となっていた。テレビ番組というフォーマットを借りて、現状あるテレビの概念を内部から破壊しようと試みたシュリンゲンジーフによる TV シリーズ。2000年から2001年にかけて放映さ

れ大きな話題を呼んだ。

「エピソード2 ヨーゼフ・ボイス＋インド（35分／2000年）」「エピソード7 アフリカ（29分／2001年）」

クリストフ・シュリンゲンジーフ／デジタル／計64分／2000－2001

8月8日（水）15時45分 / 8月12日（日）21時15分